

月及層	週	題目、要旨 (深定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (深定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習準備用具
十一月九	(九)	雞卵の孵化 (二時間)	<p>A、要旨 雞卵の孵化及び其方法を教ふるにあり</p> <p>B、要項 1、雞卵の内容、構造の大要 2、孵化するにつきての要件 3、孵化の方法 イ、母雞に抱かしむ ロ、人工孵化器 4、孵化用の種卵</p>	<p>1、雞卵の内容を教ふるに内部には卵白と卵黄とあり卵黄には胚あり他は透明な液に包まれて止むべし</p> <p>2、卵黄器は實物又ハ圖畫によりて卵の所在を説明すべし</p>	<p>1、雞卵の内容を教ふるに内部には卵白と卵黄とあり卵黄には胚あり他は透明な液に包まれて止むべし</p> <p>2、卵黄器は實物又ハ圖畫によりて卵の所在を説明すべし</p>	<p>1、雞卵の内容を教ふるに内部には卵白と卵黄とあり卵黄には胚あり他は透明な液に包まれて止むべし</p> <p>2、卵黄器は實物又ハ圖畫によりて卵の所在を説明すべし</p>	<p>1、雞卵の内容を教ふるに内部には卵白と卵黄とあり卵黄には胚あり他は透明な液に包まれて止むべし</p> <p>2、卵黄器は實物又ハ圖畫によりて卵の所在を説明すべし</p>	<p>1、雞卵の内容を教ふるに内部には卵白と卵黄とあり卵黄には胚あり他は透明な液に包まれて止むべし</p> <p>2、卵黄器は實物又ハ圖畫によりて卵の所在を説明すべし</p>	<p>1、雞卵の内容を教ふるに内部には卵白と卵黄とあり卵黄には胚あり他は透明な液に包まれて止むべし</p> <p>2、卵黄器は實物又ハ圖畫によりて卵の所在を説明すべし</p>
十一月九	(九)	稻作 其二 (二時間)	<p>A、要旨 稻の收穫實習をなすしめんとす</p> <p>B、要項 1、稻の熟季鑑別 2、收穫 イ、刈取方法 ロ、束の結び方 3、稻架に掛けしむ 4、稻抜き 5、稻の精製</p>	<p>1、便宜男子と合せて行はしむ</p> <p>2、女子には主として刈り、稲をなすしむべし</p> <p>3、鑿の用法と之を用ふるべきやう注意すべし</p> <p>4、稻の抜き方は多ク殘穂を生ぜば</p>	<p>1、便宜男子と合せて行はしむ</p> <p>2、女子には主として刈り、稲をなすしむべし</p> <p>3、鑿の用法と之を用ふるべきやう注意すべし</p> <p>4、稻の抜き方は多ク殘穂を生ぜば</p>	<p>1、便宜男子と合せて行はしむ</p> <p>2、女子には主として刈り、稲をなすしむべし</p> <p>3、鑿の用法と之を用ふるべきやう注意すべし</p> <p>4、稻の抜き方は多ク殘穂を生ぜば</p>	<p>1、便宜男子と合せて行はしむ</p> <p>2、女子には主として刈り、稲をなすしむべし</p> <p>3、鑿の用法と之を用ふるべきやう注意すべし</p> <p>4、稻の抜き方は多ク殘穂を生ぜば</p>	<p>1、便宜男子と合せて行はしむ</p> <p>2、女子には主として刈り、稲をなすしむべし</p> <p>3、鑿の用法と之を用ふるべきやう注意すべし</p> <p>4、稻の抜き方は多ク殘穂を生ぜば</p>	<p>1、便宜男子と合せて行はしむ</p> <p>2、女子には主として刈り、稲をなすしむべし</p> <p>3、鑿の用法と之を用ふるべきやう注意すべし</p> <p>4、稻の抜き方は多ク殘穂を生ぜば</p>

月及層	週	題目、要旨 (深定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (深定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習準備用具	
(立冬) 八月十二	(一〇)	育雛 (二時間)	<p>A、要旨 育雛の方法及び之に所要なることを授く</p> <p>B、要項 1、食餌 イ、卵の煮たるもの ロ、穀類類類類類 ハ、少量宛一日數回 2、管理 イ、育雛舎 ロ、寒温 ハ、保護 ニ、運動</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>	<p>3、雛卵孵化は一年を通じて行ふの時季あることを説明すべし</p> <p>4、實際孵化せしめしむべし</p>
十一月一〇	(一〇)	稻作 其一 (三時間)	<p>A、要旨 稻の乾燥及び調製につきて實習せしむ</p> <p>B、要項 1、稻の乾燥法 イ、筵に掛けしむ ロ、量及び日數 2、調製 イ、白摺り ロ、精製 3、品質鑑定 4、收量と收支計算</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	
十一月一〇	(一〇)	蔬菜栽培 其六 (二時間)	<p>A、要旨 蔬菜の中耕施肥除草等を行はしむ</p> <p>B、要項 1、中耕 2、害虫驅除 3、間引 4、除草 5、施肥</p>	<p>1、間引は最早一定の間隔となすべし</p> <p>2、施肥は隨時に行はしむべし</p>	<p>1、間引は最早一定の間隔となすべし</p> <p>2、施肥は隨時に行はしむべし</p>	<p>1、間引は最早一定の間隔となすべし</p> <p>2、施肥は隨時に行はしむべし</p>	<p>1、間引は最早一定の間隔となすべし</p> <p>2、施肥は隨時に行はしむべし</p>	<p>1、間引は最早一定の間隔となすべし</p> <p>2、施肥は隨時に行はしむべし</p>	<p>1、間引は最早一定の間隔となすべし</p> <p>2、施肥は隨時に行はしむべし</p>	
十一月一〇	(一〇)	麥栽培 其一 (二時間)	<p>A、要旨 麥の乾燥及び調製につきて實習せしむ</p> <p>B、要項 1、麥の乾燥法 イ、筵に掛けしむ ロ、量及び日數 2、調製 イ、白摺り ロ、精製 3、品質鑑定 4、收量と收支計算</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>	<p>1、乾燥の加減は高一學(一)の筵にてかみて知るを得べし</p> <p>2、白摺りは女子に鼻摺りの練習をなすしむべし</p> <p>3、白摺りは前日に服裝の準備を命じおこくべし</p>		











第三學期教授細目

月及日	週	題目、要旨 (予定時数)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (予定時数)	實習上ノ注意	學及ビ實習準備用具
一月 小寒 五日 二十日	一	(一) 肌肥 (二時間) A、要旨 肌肥の目的及び之が適當なる施用法を授けんとす	幼根は濃厚なる溶液中にありては養分を吸収作用するのみならず反つて其細胞内の水分を奪はれる者なるを明瞭にして其觀念を明確にするべし	高二理肥料 種子の發芽 農(一)ノ(一〇)	前學期に於ける既授材水		(一) 農園及び學校園の整理 (二時間) A、要旨 農園及び學校園の手入及び整理をなましめん	1、休暇後の事なれば落葉散亂せしむるを以て掃除を兼ねし手入整理をなされしむべし 2、落葉、塵芥は後棄すべし	鋤、鍬、鋤、鋤、鋤、鋤、木葉、マツチ、
一月 二(三) 肥料の性質 (二時間)	二	A、要旨 肥料の養效には速速あること及び作物によりて適否あること並に施用に關する要項を授く							
一月 三	三	(三) 麥の施肥 (二時間) A、要旨 麥の肥料と之が用法を授けんとす B、要項 1、基肥と補肥 2、基肥及び補肥の施用法と之に適する肥料 3、麥の生育と施肥との關係 4、麥の施肥につきての注意	1、先づ施肥の手續を教へ次に之に關する理由を授くべし 2、既に授けられたる肥料及び其用量に關聯して授くべし 3、土用する麥の穂を診し、彼等すきての麥の生育を授けんとす 4、彼等すきての麥の生育を授けんとす	高二理蛋白質 農(三)ノ(一) 農(三)ノ(二) 農(三)ノ(三) 農(三)ノ(四) 農(三)ノ(五)					
一月 三	三	(三) 農産製造 (二時間) A、要旨 麴、甘酒、(二時間) B、要項 1、材料と用具 2、麴の作り方 3、甘酒の作り方 4、原料 5、煮方	1、本回の中耕は前や深耕せしむるを可とす 2、中耕の際麥を傷めざるやう注意すべし	高一學(二)ノ(一) 麥栽培其二 類					肥料、農具、釜又は鍋

月及日	週	題目、要旨 (予定時数)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (予定時数)	實習上ノ注意	學及ビ實習準備用具
一月 大寒 二十日 二十四日	三	(三) 麥の施肥 (二時間) A、要旨 麥の肥料と之が用法を授けんとす B、要項 1、基肥と補肥 2、基肥及び補肥の施用法と之に適する肥料 3、麥の生育と施肥との關係 4、麥の施肥につきての注意	1、先づ施肥の手續を教へ次に之に關する理由を授くべし 2、既に授けられたる肥料及び其用量に關聯して授くべし 3、土用する麥の穂を診し、彼等すきての麥の生育を授けんとす 4、彼等すきての麥の生育を授けんとす	高二理蛋白質 農(三)ノ(一) 農(三)ノ(二) 農(三)ノ(三) 農(三)ノ(四) 農(三)ノ(五)					
一月 三	三	(三) 農産製造 (二時間) A、要旨 麴、甘酒、(二時間) B、要項 1、材料と用具 2、麴の作り方 3、甘酒の作り方 4、原料 5、煮方	1、本回の中耕は前や深耕せしむるを可とす 2、中耕の際麥を傷めざるやう注意すべし	高一學(二)ノ(一) 麥栽培其二 類					肥料、農具、釜又は鍋



學科細目 實習細目

Table with columns for month/year, lesson number, lesson title, and detailed content. Includes topics like '果樹の剪定' (Pruning of fruit trees) and '農産製造' (Agricultural production).

Table with columns for month/year, lesson number, lesson title, and detailed content. Includes topics like '森林の效用' (Uses of forests) and '桑の栽培' (Silkworm rearing).











第一學期教授細目

學科

細目

實習

細目

月及曆	週	題目、要旨 (豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (豫定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習 相互トノ連絡	準備教具
四月	一	(一) 農學 (一時間) A、要旨 農業を営む者には農學の必要なることを教ふ B、要項 1、農學の意義 2、農學の範圍及び性質 イ、農學 植物生産學 動物生産學 農業經濟學 經營學 農政學 經濟學 農學 3、農業と農學との關係 4、農學研究の必要と農家子弟	農學の必要なることを知らしめんには氣候土壤肥料農具等につき農學が農業の改良進歩に及ぼしたる例を以て説明すべし	高一農(一) 農業	前學年に授ける材料		(二) 草花栽培 其一 (二時間) A、要旨 1、苗圃及び草花圃の整地をなさしめ蔬菜及び草花の播種をなさしむ B、要項 1、苗圃と草花圃の設計 2、苗圃の構造 3、整地、成形 4、施肥 5、茄瓜類玉葱、甘藍、牛蒡等の播種 6、草花の下種 7、早生蔬菜草花の移植	1、苗圃の整地は高(一)實(一) 茄瓜栽培 其一 其の上を細かに砕きかきむべし 2、播種は厚薄なきやう時かきむべし 3、教師は輔導的に立ち可成兒童的操作せしむべし	高一學(一) 蔬菜の種 草花の種 立札等	
四月	二	(二) 接木 (二時間) A、要旨 果樹につきて接木の諸方法を授く B、要項 1、果樹の繁殖と接木法 2、接木の效用	1、果樹の繁殖に接木法の適當なる事を知らしむべし 2、接木の諸法は實物又は繪畫によりて授くべし	高二實(一) 農學 果樹栽培 其の二 松(年輪)		接木の諸法を示せる掛圖 樹幹断面及び成長部の明圖 接木用具	(三) 麥栽培 其一 (二時間) A、要旨 麥の除草中耕及び培土をなさしむ B、要項 1、除草 2、中耕 3、培土(土寄せ)	1、本實習は前學年より連續せるものなり 2、中耕培土の法をよく練習せしむべし	高一學(二) 麥の播種 高二實(二) 麥栽培其一 同(二)ノ(五) 麥栽培其二	鋤、小鐵

土用	五月十七日	五月十六日	四月	五月二十日	五月十六日		
四三	(三) 果樹の移植 (二時間) A、要旨 果樹移植の季節と其方法を知らしむ B、要項 1、移植の季節 イ、秋落葉後 春發芽前 果樹苗の移植法 イ、苗の掘出 ロ、根、枝の剪定 ハ、整地して溝又は穴を掘る ニ、施肥、移植 三、苗木の年齢と苗木の取扱	1、移植法は大抵高(二)農(一)ノ果樹の接木に準じて居れ 2、移植の季節は樹種を選定して實地に示す可し 3、季節の說明に於て成長休止及び落葉作用の及ぶに於ては理料に於て學びたれど之を歸納して授くべし	高二實(一) 農學 果樹の接木 以上果樹材の大體	(四) 果樹栽培 其二 (二時間) A、要旨 果樹の接木及び移植法の實習をなさしむ B、要項 1、果樹の接木 イ、材料と用具 ロ、接木と苗木の選定 ハ、接木の諸法 ニ、接木の移植 イ、整地施肥 ロ、苗木等移植 ハ、樹木の移植 ニ、管理	1、接木は女子に法につき證明的ば足るべし 2、山梨等を粘木として練習せしむるを假設的に可なり 3、移植は其原則を喚起し之に實習せしむべし	同(一)ノ(三) 接木 同(二)ノ(三) 接木 刀、接木用小	鋤、小鐵、鋸、鋸、鋸、鋸、鋸、鋸







學科 細目 實習 細目

Table with columns: 月及層 (Month and Level), 週 (Week), 題目・要旨 (Topic and Purpose), 教授上ノ注意 (Notes for Teaching), 連絡 (Connections), 復習事項 (Review Items), 準備教具 (Preparation of Teaching Aids), 題目・要旨 (Topic and Purpose), 實習上ノ注意 (Notes for Practical Work), 學科及實習 (Subject and Practical Work), 準備教具 (Preparation of Teaching Aids).

Table with columns: 月及層 (Month and Level), 週 (Week), 題目・要旨 (Topic and Purpose), 教授上ノ注意 (Notes for Teaching), 連絡 (Connections), 復習事項 (Review Items), 準備教具 (Preparation of Teaching Aids), 題目・要旨 (Topic and Purpose), 實習上ノ注意 (Notes for Practical Work), 學科及實習 (Subject and Practical Work), 準備教具 (Preparation of Teaching Aids).











學科 細目 實習 細目

月及册	週	題目、要旨 教授要項(豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 實習要項(豫定時數)	實習上ノ注意	學科及實習 相互ノ連絡	準備用具
(土用) 八月八日 二十日	七 月 一五	(四)排水の方法 A、要旨 排水の方法及び之が利益を授く B、要項 1、排水の必要 2、排水の方法 イ、明渠排水 ロ、暗渠排水 暗渠排水の方法之に用ふる材料 ハ、明渠と暗渠との得失 3、排水の利益及び其效果	1、適當なる作物を栽植し其の生育を比較して知らしむ 2、過濕の爲温度低下することば、土壌の含水量の異なるに於て受熱の時間を知らしむべし 3、過濕のため土中空氣缺乏することば、又含水量の異なる土壌に於て水の出づる状態に注目せしむべし	二番(二) 作物の病害	作物の病害		(三六) 甘藷栽培 其三 A、要旨 甘藷の除草施肥返しを行はしむ B、要項 1、除草 2、返し 3、水田の害蟲驅除	1、草取は可成日中に行はしむるを可し 2、草取は可成日中に行はしむるを可し	高一(一) 肥料、 高四(一) 肥料、 甘藷栽培 其二	除草用具
(大暑) 八月八日 二十三日	七 月 一五	(四)排水の方法 A、要旨 排水の方法及び之が利益を授く B、要項 1、排水の必要 2、排水の方法 イ、明渠排水 ロ、暗渠排水 暗渠排水の方法之に用ふる材料 ハ、明渠と暗渠との得失 3、排水の利益及び其效果	種々の暗渠排水法を教ふるに、模型又は圖畫により比較して其觀念の明確ならんことを圖るべし	農二(一) 土壤の過濕	各種の排水法を示せる模型又は繪畫		(三七) 果樹栽培 其四 A、要旨 果樹及び蔬菜の收穫をなさしむ B、要項 1、果樹收穫 桃、蘋果等 2、茄子、胡瓜等の收納 3、處分方法	1、果物の收穫は、可成り早しむるを注意せしむべし 2、茄子の收納は、むしりとりしむべし 3、瓜の收納は、むしりとりしむべし	高一(一) 果樹、 高四(一) 果樹、 却收穫物の賣却	除草用具

月及册	週	題目、要旨 教授要項(豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 實習要項(豫定時數)	實習上ノ注意	學科及實習 相互ノ連絡	準備用具
(立秋) 八月八日 二十三日	七 月 一五	(五)復習及び統括 A、本學期に授けたる教材の復習及び統括をなす (二時間)	1、統括は果樹、蔬菜、作物、病害、土壌等を主として、前學年の教材と連続を保たしむべし				(三八) 稻作 其の七 A、要旨 三番除草をなさしめんことをす B、要項 1、三番除草 イ、排水 ロ、草取 ハ、灌水 (三九) 稻作 其の八 A、要旨 四番除草の練習をなさしむ B、要項 1、四番除草 2、厩肥の踏込 3、灌溉 (三〇) 茄瓜栽培 其の六 A、要旨 茄瓜の收穫をなさしむ B、要項 1、收穫 2、處分 3、帳簿の記入 (三一) 甘藷栽培 其の四 A、要旨 甘藷の除草施肥及び返しを爲さしむ B、要項 1、除草 2、返し 3、施肥	1、手にて除草せしめ、根元をむしり攪拌せしむべし 2、除草後の灌水は、水質及温度に注意せしむべし 3、高一年(一) 稻作其七 高一年(二) 稻作其七 高一年(三) 稻作其七 高一年(四) 稻作其七 高一年(五) 稻作其七 高一年(六) 稻作其七 高一年(七) 稻作其七 高一年(八) 稻作其七	高一(一) 肥料、 高四(一) 肥料、 甘藷栽培 其二	除草器、 肥料、 柄杓、 帳簿、 鉢、 籠、 鉄



學科細目 實習細目

月及層	週	題目、要旨 (確定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (確定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習 相互ノ連絡	準備教具
(滿月) 二十日	中旬									
		(三三) 蔬菜栽培 其の一 A、要旨 早播を要する蔬菜の整地及び播種をなさしむ B、要項 1、整地、成形 イ、共同區 練習區 見本園 2、施肥 3、播種 4、播種後の處置と管理					1、前學年度に於て既に課したる之と連絡して専ら兒童を以て練習せしむべし 2、基肥として厩肥を敷きとして施すべし	高一實(八月) 蔬菜栽培 其の一 肥料、種子、畝、		
		(三三) 稻作 其の九 A、要旨 土用干と神拔を行はしむ B、要項 1、土用干(排水) 2、神拔(除草) 3、灌水					1、神の處分を通當になさしむべし 2、灌水は水の溫度と水質とに注意せしむべし	高一實(八月) 稻作其の九 鉢、籠、		
		(三四) 茄瓜栽培 其の七 A、要旨 茄瓜類の收穫をなさしむ B、要項 1、茄瓜類の收穫 2、處分					收穫物は賣却其他適當に處分せしむべし			
		(三五) 果樹栽培 其の五 A、要旨					果物の收穫は傷けざるやうに注意し保存等にも意を用ひしむべし	高一學(三ノ) 果樹栽培の實績、		

(滿月)  
二十三日  
九月八日  
下旬

月及層	週	題目、要旨 (確定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (確定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習 相互ノ連絡	準備教具
		(三六) 農産製造 A、要旨 越瓜にて奈良漬の造り方を練習せしむ B、要項 1、用具準備 2、材料 イ、越瓜 ロ、酒精等 3、漬け方					1、越瓜は中を採らしめ日に干さしめ後漬けしむべし 2、漬け方は教師指導の下に之を行はしむべし	高一實(二ノ) 越瓜、酒精、		
		(三七) 栽培設計練習 A、要旨 油菜及び秋作蔬菜の栽培設計をなさしむ B、要項 1、油菜栽培 イ、整地 苗木、木田 ロ、施肥 ハ、播種及び移植 ニ、管理手入 2、蔬菜栽培 イ、整地、成形 ロ、施肥 ハ、播種、移植 ニ、管理手入等 3、設計書に記入					1、油菜の設計は教師指導の下に之をなさしむべし 2、蔬菜の設計は前學年にも練習したる所なれば濃め定めたる作物種類の中より兒童を以て之を採擇して工夫せしむるやうなすべし	高一實(八月) 設計書、栽培設計練習設計雛形、帳簿、		



第二學期教授細目

月及層	週	題目、要旨 (予定時数)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (予定時数)	實習上ノ注意	學科及ビ實習準備具
九月	一	(一) 土壤の種類 (一時間) A、要旨 土壤の種類と耕作上の關係につきて授くるにあり B、要項 1、土壤の種類 イ、砂土 ロ、粘土(植土) ハ、壤土 ニ、三種の土質性質とその異なる點 3、砂土、粘土、壤土と各、耕作上の關係 C、實驗 1、無底硝子管三本に三種の土壤を入れ上から同量の水を注下して水を保つ量を比較觀察せしむ 2、高一、男實驗参照	1、學校附近の土壤について何種高ニ理に屬するかを知らしむべし 2、乾燥せる砂土、粘土を別々に掌上にのせ指にて摩擦し各土壤の砂及び粘土を含む量に差あることを知らしむべし	高ニ理(二) 土壤の種類	前學期の學校附近の土既授材料の少量	砂土、硝子管二本	(二) 蔬菜栽培 其の二 草花栽培 (二時間) A、要旨 秋作蔬菜類及び花卉の整地及び播種をなす B、要項 1、整地及び成形 イ、苗床 ロ、木圍 2、施肥 イ、蔬菜及び草花を苗床に下種 ロ、同木圍に直播 4、播種後の操作及び管理	1、本實習は個人區を主として練習せしむるものとす 2、根菜類の整地は特に丁寧になせしむべし 3、作物は豫め定めたるものの中より選定せしむべし 4、作物の幼稚なる間は特に管理及び保護に注意せしむべし	高一(一) 勸、蔬菜栽培 其の二 肥料、種子、立札、一葉、同(八月) 蔬菜栽培 設計練習

九月	二	九月	三
(白)	(白)	(白)	(白)
八	八	八	八
二十三日	二十三日	二十三日	二十三日
(二百廿)	(二百廿)	(二百廿)	(二百廿)
日	日	日	日
九	九	九	九
月	月	月	月
三	三	三	三
(三)	(三)	(三)	(三)
土壤の由來 (一時間) A、要旨 土壤の由來につきて授けんこと B、要項 1、土壤の生成 2、生因による區別 イ、原生土 ロ、沖積土 ハ、火山灰土 3、三土の性質と特長 4、岩石破碎して厚き土層をなすまでには數千年の歲月を要すること C、實驗 1、岩石を碎きて土となして直器せしむ 2、山間に引率實地踏査	(三) 土壤の由來 (二時間) A、要旨 土壤の生成は岩石の風化作用に基くものなることを授く B、要項 1、岩石が碎けて土壤となる原因 2、岩石の古きものなど兒童の經驗せる處について語	原生土、沖積土、火山灰土の區別を明瞭ならしむべし 高ニ理(二) 土壤の種類	原生土、沖積土、火山灰土の少量
(三)	(三)	(三)	(三)
甘藷栽培 其五 (一時間) A、要旨 除草施肥及返返しを行ふ B、要項 1、除草 2、返返し 3、施肥	(三) 甘藷栽培 其五 (二時間) A、要旨 間引及び害蟲驅除を行はしむ	1、確内に生じた草は引抜かし一五、八月に甘藷栽培の二、三柄を以てせしむるを可とす 2、施肥は人糞尿を以てせしむる	高ニ理(二) 肥料、肥桶、其の四



學科

細目

實習細目

月及曆	週	題目、要旨 教授要項(豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 實習要項(豫定時數)	實習上ノ注意	學科及實習 相互ノ連絡	準備用具
九月 (徵進)	四	(四) 腐植土の生成 (二時間) A、要旨 腐植土の生成つきて知らしむ B、要項 1、植物は岩石の風化を助く イ、岩石風化すれば腐苔を生ず ロ、腐苔の根より酸液を出す ハ、根が呼吸作用の際炭酸ガスを出し炭酸水を生ず ニ、腐植土の生成 イ、植物の腐敗 ロ、腐植質の含有 ハ、腐植土を生ず	らしめ更によく腐苔五理を備し置き石片を砕きて其脆弱なることにも亦此の如くしてなれるものなることな會得せしむべし	岩五理 岩石 流水の作用 腐六理 腐苔の作用 腐五理 空氣の成分	土壤の由腐壤し易き石片	土壌の由腐壤し易き石片	(四) 稻作 其一〇 (二時間) A、要旨 水田の排水白根拔及び種拔を行はしむ B、要項 1、排水 2、白根拔き 3、種拔き 4、畦畔に豆下種 (豆莢 其七)	1、除草及び害虫を根除せざるべし 2、開引は數回に行はしむべし 3、施肥は稀薄なる人糞尿を施さしむべし	高一實(二) 稻作 其一〇 高二實(二) 同 其の二	高一實(二) 稻作 其一〇 高二實(二) 同
九月 (秋分)	二十三	(五) 油菜栽培 其一 (二時間) A、要旨 油菜の苗床整地及び播種をなさしむ						1、除草及び害虫を根除せざるべし 2、開引は數回に行はしむべし 3、施肥は稀薄なる人糞尿を施さしむべし	高一實(二) 油菜栽培 其一〇 高二實(二) 同	高一實(二) 油菜栽培 其一〇 高二實(二) 同
十月 五		(五) 土層の區別 (二時間) A、要旨 表土と心土との區別及農耕との關係につきて授く B、要項 1、土層の意義 2、土層の區別 イ、表土(耕土) ロ、心土(底土) 3、表土及び心土の各性質及び特長 4、表土と心土との關係 5、土層と耕作との關係 (六) 土壤の改良 (二時間) A、要旨 既授の土壤改良事項を復習總括し更に客土焼土法等をも授けんとす	耕土とは普通耕動する所即ち犁の尖の達する所までをいふことになつてある	尋六理 地層 尋五理 土	腐植土の土層を示す掛圖	(七) 農藝手工 (二時間) 1、模倣	1、苗床は撒播せざるべし 2、種は撒きしむべし 3、種は撒きしむべし 4、種は撒きしむべし 5、種は撒きしむべし	1、中耕は苗根を傷めざるやう注意を要す 2、開引は害虫を捕殺するに可なり	高一學(一) 油菜栽培 其一〇 高二學(一) 同 其の五	高一學(一) 油菜栽培 其一〇 高二學(一) 同 其の五

月及曆	週	題目、要旨 教授要項(豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 實習要項(豫定時數)	實習上ノ注意	學科及實習 相互ノ連絡	準備用具
十月 五		(五) 土層の區別 (二時間) A、要旨 表土と心土との區別及農耕との關係につきて授く B、要項 1、土層の意義 2、土層の區別 イ、表土(耕土) ロ、心土(底土) 3、表土及び心土の各性質及び特長 4、表土と心土との關係 5、土層と耕作との關係 (六) 土壤の改良 (二時間) A、要旨 既授の土壤改良事項を復習總括し更に客土焼土法等をも授けんとす	耕土とは普通耕動する所即ち犁の尖の達する所までをいふことになつてある	尋六理 地層 尋五理 土	腐植土の土層を示す掛圖	(七) 農藝手工 (二時間) 1、模倣	1、苗床は撒播せざるべし 2、種は撒きしむべし 3、種は撒きしむべし 4、種は撒きしむべし 5、種は撒きしむべし	1、中耕は苗根を傷めざるやう注意を要す 2、開引は害虫を捕殺するに可なり	高一學(一) 油菜栽培 其一〇 高二學(一) 同 其の五	高一學(一) 油菜栽培 其一〇 高二學(一) 同 其の五



學科

細目

實習

細目

月及層	週	題目、要旨 (課定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (課定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習相互ノ連絡	準備教具	
(奉還) 八月二十四日	七	馬の品種及飼養管理 (二時間) A、要旨 馬の品種とこれが飼養管理のこゝを教ふるにあり B、要項 1、馬の品種 イ、南部馬 ロ、薩摩馬 ハ、アラビヤ馬 ニ、純血種 ホ、クワイデステール 2、各品種の特長	本課の既習に屬する事項は復習的に取扱ひ客土法、機土法等に力を注ぐべし	尋讀卷三 牛馬 家畜十 馬五理	土層の區別 別 以上土客土法機土法 大體の深淺 大體の深淺	馬の各品種を示せる繪畫	2、依編み A、要旨 機及依の編み方練習をなす B、要項 1、機及依の構造 2、用具と材料 3、機及依の編み方 4、依の編み方	1、機及依は部分的に示範して後習せしむべし 2、又其の大きさに注意せしむべし 3、依はあみかけの装置を説明して兒童に練習せしむべし 4、一枚の依は厚す薄なきやう注意すべし	高一實(三) 草履 依編みの用具 細繩		
十月七	七	(七) 馬の品種及飼養管理 (二時間) A、要旨 馬の品種とこれが飼養管理のこゝを教ふるにあり B、要項 1、馬の品種 イ、南部馬 ロ、薩摩馬 ハ、アラビヤ馬 ニ、純血種 ホ、クワイデステール 2、各品種の特長	1 馬匹の改良は軍事上極めて肝要なることに説き及ぼすべし	尋讀卷三 牛馬 家畜十 馬五理	土層の改良 馬の各品種を示せる繪畫	馬の各品種を示せる繪畫	(八) 甘藷栽培 其六 (二時間) A、要旨 甘藷の收穫及び之が處分をなす B、要項 1、收穫 イ、蔓切り ロ、蔓掘り	1、蔓切りは味の兩側にかき分けしめ株を明かに露出せしむべし			
十月八	八	(八) 牛の品種及飼養管理 (二時間) A、要旨 牛の品種及び飼養管理につきて授く B、要項 1、牛の品種 イ、日本種 ロ、外國種 但馬牛、肥前牛 ホルスタイン、エー アシヤ、短角、褐 色、四、シメンタ イ、ヤ、デボン 2、各種の特長及び其質 3、効用上より見たる種別 イ、力役用、肉用、乳用 ロ、各品種との關係	2、女兒には寧ろ力な注ぐべし 3、馬は其性温氣を嫌ふこと甚しき故に厩舎は必ず高燥を保つべし	尋讀卷十一 アラビヤ馬 高一理類 哺乳類	西洋では畜産が盛んであるが、大に牛の改良も行はれるが、我國では餘り改良されぬ 2、日本牛は肉も美味で乳も濃いが、少量の小乳に分けて肉牛乳牛として、缺點がある	尋讀卷三 牛馬 家畜十 馬五理	馬の各品種牛の各品種を示せる繪畫	(九) 蔬菜栽培 其の五 (二時間) A、要旨 除草、中耕、施肥等の手入れをなす B、要項 1、除草 2、中耕 3、施肥 4、間引 5、害虫駆除	1、害虫駆除は作物の幼穉なる間にしむれば、以て生きたる害虫を殺し、落さしむべし 2、施肥は作物の莖葉に注がざるやう注意すべし	高一實(三) 備中耕 收穫物の賣却 其の四 施肥用具	

月及層	週	題目、要旨 (課定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (課定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習相互ノ連絡	準備教具	
(土用) 十一月八日	七	(七) 馬の品種及飼養管理 (二時間) A、要旨 馬の品種とこれが飼養管理のこゝを教ふるにあり B、要項 1、馬の品種 イ、南部馬 ロ、薩摩馬 ハ、アラビヤ馬 ニ、純血種 ホ、クワイデステール 2、各品種の特長	本課の既習に屬する事項は復習的に取扱ひ客土法、機土法等に力を注ぐべし	尋讀卷三 牛馬 家畜十 馬五理	土層の區別 別 以上土客土法機土法 大體の深淺 大體の深淺	馬の各品種を示せる繪畫	2、依編み A、要旨 機及依の編み方練習をなす B、要項 1、機及依の構造 2、用具と材料 3、機及依の編み方 4、依の編み方	1、機及依は部分的に示範して後習せしむべし 2、又其の大きさに注意せしむべし 3、依はあみかけの装置を説明して兒童に練習せしむべし 4、一枚の依は厚す薄なきやう注意すべし	高一實(三) 草履 依編みの用具 細繩		
十月二十四日 (霜降)	八	(八) 牛の品種及飼養管理 (二時間) A、要旨 牛の品種及び飼養管理につきて授く B、要項 1、牛の品種 イ、日本種 ロ、外國種 但馬牛、肥前牛 ホルスタイン、エー アシヤ、短角、褐 色、四、シメンタ イ、ヤ、デボン 2、各種の特長及び其質 3、効用上より見たる種別 イ、力役用、肉用、乳用 ロ、各品種との關係	2、女兒には寧ろ力な注ぐべし 3、馬は其性温氣を嫌ふこと甚しき故に厩舎は必ず高燥を保つべし	尋讀卷十一 アラビヤ馬 高一理類 哺乳類	西洋では畜産が盛んであるが、大に牛の改良も行はれるが、我國では餘り改良されぬ 2、日本牛は肉も美味で乳も濃いが、少量の小乳に分けて肉牛乳牛として、缺點がある	尋讀卷三 牛馬 家畜十 馬五理	馬の各品種牛の各品種を示せる繪畫	(九) 蔬菜栽培 其の五 (二時間) A、要旨 除草、中耕、施肥等の手入れをなす B、要項 1、除草 2、中耕 3、施肥 4、間引 5、害虫駆除	1、害虫駆除は作物の幼穉なる間にしむれば、以て生きたる害虫を殺し、落さしむべし 2、施肥は作物の莖葉に注がざるやう注意すべし	高一實(三) 備中耕 收穫物の賣却 其の四 施肥用具	







月及册	週	題目、要旨 (豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (豫定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習 相互ノ連絡 準備用具
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	1. 成分の存在するところは實験によりて示すべし 2. 土壤は主として無機物より成り尙ほ多少の有機物を含有す 3. 土中の無機物は砂子粘土の成り植物の養料は其量少くして植物の吸収に適せざる不可給肥養分多し	高二農 (二) 土壤の種類養蜂 (二) 土壤に關する材料	養蜂	養蜂の標本又は各種類を示す繪畫 養蜂の實物又は模型繪畫 養蜂分籠器の繪畫	(四) 桑栽培 其四 (二時間) A、要旨 桑の施肥及び害虫驅除を行はしむ B、要項 1、施肥 2、害虫驅除	1、男子細目を参照すべし 2、桑の害虫驅除の方法を授くべし	高二農 (二) 養蜂の栽培、其の七 桑樹の栽培、其の一
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 土壤の主要なる成分を教ふるにあり B、要項 1、土壤の成分 イ、水分 ロ、有機分 ハ、無機分 2、土壤の有機分 3、土壤の無機分 4、土壤中に於ける成分の量	高二農 (二) 土壤の種類養蜂 (二) 土壤に關する材料	養蜂	養蜂の標本又は各種類を示す繪畫 養蜂の實物又は模型繪畫 養蜂分籠器の繪畫	(五) 果樹栽培 其六 (二時間) A、要旨 柑橘類の收納を行はしむ B、要項 1、柑橘類の收穫 2、貯蔵 3、處分	收穫は町場に行はしむべし	高二農 (二) 果樹栽培、其の七
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 土壤の主要なる成分を教ふるにあり B、要項 1、土壤の成分 イ、水分 ロ、有機分 ハ、無機分 2、土壤の有機分 3、土壤の無機分 4、土壤中に於ける成分の量	高二農 (二) 土壤の種類養蜂 (二) 土壤に關する材料	養蜂	養蜂の標本又は各種類を示す繪畫 養蜂の實物又は模型繪畫 養蜂分籠器の繪畫	(六) 蔬菜栽培 其七 (二時間) A、要旨 蔬菜類の收穫及び處分をなさしむ B、要項 1、收穫 大根、蕪菁、人参、漬菜類其他 2、處分 イ、賣却 ロ、漬物用 ハ、貯蔵 3、收支計算 4、大根等の調理法	1、根菜類は折傷せざるやうに掘起せしむべし 2、收穫物は酒糟せして一把握束せしむべし 3、漬物用のものは適當に保存せしむべし 4、調理法は家事科に連絡して授くる可き	高二農 (二) 蔬菜栽培、其の七 其の一
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 肥料の成分として窒素、リン、カリの量を教ふるにあり B、要項 1、肥料の三要素 イ、肥料中に窒素、リン、カリの含有せらるる理由 ロ、窒素、リン、カリの三成分といはるる理由 2、肥料中に含まるる成分の量と肥料の價 3、肥料の分類 イ、窒素肥料 ロ、リン酸肥料 ハ、加里肥料 ニ、普通肥料	高二農 (二) 肥料の性質	肥料	肥料の標本又は各種類を示す繪畫 肥料の實物又は模型繪畫	(七) 油菜栽培 其三 (二時間) A、要旨 油菜の施肥及び中耕をなさしむ B、要項 1、施肥 2、中耕	中耕はよく示範し之が方法に練熟せしむべし	高二農 (二) 油菜栽培、其の三
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 肥料の成分として窒素、リン、カリの量を教ふるにあり B、要項 1、肥料の三要素 イ、肥料中に窒素、リン、カリの含有せらるる理由 ロ、窒素、リン、カリの三成分といはるる理由 2、肥料中に含まるる成分の量と肥料の價 3、肥料の分類 イ、窒素肥料 ロ、リン酸肥料 ハ、加里肥料 ニ、普通肥料	高二農 (二) 肥料の性質	肥料	肥料の標本又は各種類を示す繪畫 肥料の實物又は模型繪畫	(七) 油菜栽培 其三 (二時間) A、要旨 油菜の施肥及び中耕をなさしむ B、要項 1、施肥 2、中耕	中耕はよく示範し之が方法に練熟せしむべし	高二農 (二) 油菜栽培、其の三

月及册	週	題目、要旨 (豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (豫定時數)	實習上ノ注意	學科及ビ實習 相互ノ連絡 準備用具
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	1. 成分の存在するところは實験によりて示すべし 2. 土壤は主として無機物より成り尙ほ多少の有機物を含有す 3. 土中の無機物は砂子粘土の成り植物の養料は其量少くして植物の吸収に適せざる不可給肥養分多し	高二農 (二) 土壤の種類養蜂 (二) 土壤に關する材料	養蜂	養蜂の標本又は各種類を示す繪畫 養蜂の實物又は模型繪畫 養蜂分籠器の繪畫	(四) 桑栽培 其四 (二時間) A、要旨 桑の施肥及び害虫驅除を行はしむ B、要項 1、施肥 2、害虫驅除	1、男子細目を参照すべし 2、桑の害虫驅除の方法を授くべし	高二農 (二) 養蜂の栽培、其の七 桑樹の栽培、其の一
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 土壤の主要なる成分を教ふるにあり B、要項 1、土壤の成分 イ、水分 ロ、有機分 ハ、無機分 2、土壤の有機分 3、土壤の無機分 4、土壤中に於ける成分の量	高二農 (二) 土壤の種類養蜂 (二) 土壤に關する材料	養蜂	養蜂の標本又は各種類を示す繪畫 養蜂の實物又は模型繪畫 養蜂分籠器の繪畫	(五) 果樹栽培 其六 (二時間) A、要旨 柑橘類の收納を行はしむ B、要項 1、柑橘類の收穫 2、貯蔵 3、處分	收穫は町場に行はしむべし	高二農 (二) 果樹栽培、其の七
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 肥料の成分として窒素、リン、カリの量を教ふるにあり B、要項 1、肥料の三要素 イ、肥料中に窒素、リン、カリの含有せらるる理由 ロ、窒素、リン、カリの三成分といはるる理由 2、肥料中に含まるる成分の量と肥料の價 3、肥料の分類 イ、窒素肥料 ロ、リン酸肥料 ハ、加里肥料 ニ、普通肥料	高二農 (二) 肥料の性質	肥料	肥料の標本又は各種類を示す繪畫 肥料の實物又は模型繪畫	(七) 油菜栽培 其三 (二時間) A、要旨 油菜の施肥及び中耕をなさしむ B、要項 1、施肥 2、中耕	中耕はよく示範し之が方法に練熟せしむべし	高二農 (二) 油菜栽培、其の三
十二月	四三	(三) 土壤の成分 (二時間)	A、要旨 肥料の成分として窒素、リン、カリの量を教ふるにあり B、要項 1、肥料の三要素 イ、肥料中に窒素、リン、カリの含有せらるる理由 ロ、窒素、リン、カリの三成分といはるる理由 2、肥料中に含まるる成分の量と肥料の價 3、肥料の分類 イ、窒素肥料 ロ、リン酸肥料 ハ、加里肥料 ニ、普通肥料	高二農 (二) 肥料の性質	肥料	肥料の標本又は各種類を示す繪畫 肥料の實物又は模型繪畫	(七) 油菜栽培 其三 (二時間) A、要旨 油菜の施肥及び中耕をなさしむ B、要項 1、施肥 2、中耕	中耕はよく示範し之が方法に練熟せしむべし	高二農 (二) 油菜栽培、其の三



月及層	週	學科	題目、要旨 (豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (豫定時數)	實習上ノ注意	科目及ビ實習準備用具
(冬至) 十二月五日		學科	イ、人造肥料 ロ、有機肥料 イ、金肥 ロ、手間肥 C、實驗 イ、腐熟した尿又は堆肥を水に浸して其汁につき、アムモニヤを検し、窒素の存在を検す ロ、過燐酸石灰にヨリ、燐酸の検出 ハ、カイニツト又は灰汁を用ひて加里の検出					(六) 農産製造 漬物 (二時間) A、要旨 沼庭漬及び干枚漬の造り方々練習せしむ B、要旨 1、沼庭漬の漬け方 2、干枚漬の作り方 3、貯蔵	1、本實習は前學年(一五)の漬物に於ても授けられたるに本學年(八月)に於ても授けらるる可なり 2、高一女子聯合課するも可なり 3、便宜敷組に分ちて練習せしむるを便せしむ	高一(二)ノ漬物桶、米、食鹽、大根、尾張大根、大葉、落葉、昆布等
		學科	十二月一五(五)復習及び總括 (二時間) A、要旨 本學期中の復習及び總括をなす 1、本學期分の復習總括 2、前學期教材とも連絡總括	1、復習總括は前學期教材とも連絡せしむべし 2、總括は土壤へ畜等を主とす						

第三學期教授細目

月及層	週	學科	題目、要旨 (豫定時數)	教授上ノ注意	連絡	復習事項	準備教具	題目、要旨 (豫定時數)	實習上ノ注意	科目及ビ實習準備用具
一月	二	學科	(二) 土壤の性質 (二時間) A、要旨 土壤の吸水力を教ふるにあり B、要旨 1、土壤に吸水力あること 2、土壤吸水力の意義 3、土壤の種類と吸水力の強弱及び施肥法の原則 4、土壤吸水力の効用 5、土壤吸水力の効用 C、實驗 1、土壤吸水力の實驗 2、土質に差異あることを示す實驗	1、時間に餘裕あれば本課を授けるに際し理學的性質を附加教授するを可とす 2、土壤中のコロイドも吸水作用を起すも教授の注意をなす 3、土壤の種類と吸水力の強弱及び施肥法の原則	高一農(二)ノ土壤の種類 前學期の既授材料	吸水力實驗用器具	(二) 農園並に學校園の整理 (二時間) A、要旨 農園及び學校園の整理及び手入をなさしむ B、要旨 1、農園の整理及び手入 2、學校園の整理及び手入	1、高一女子、男生高一(三)等と合同して荒廢せる園の整理及び手入をなさしむるものなり 2、落葉塵芥は之を燒棄せしむべし	農園及び學校園の整理、落葉、糞、鋤	
一月	三	學科	(三) 肥料三成分の吸収 (二時間) A、要旨					(三) 果樹栽培 其の七 (二時間) A、要旨 果樹の中耕及び施肥をなさしむ		







學科

細目

實習

目

月及層

週

教目、要旨 (豫定時數)

教授上ノ注意

連絡

復習事項

準備教具

題目、要旨 (豫定時數)

實習上ノ注意

學科及實習  
相互ノ連絡  
準備用具

目

1134

二月  
(雨水)  
十九日  
三月六日

(五) 摘芽

(二時間)

A、要旨  
摘芽の目的並にその效用  
ある所以を授く  
B、要項  
1、摘芽の意義  
2、摘芽の目的  
イ、枝の成長を抑へて  
根を發育させる  
ロ、養分の方法を變ぜ  
しめ果實若くは葉を  
大ならしむ

摘芽は多く蔬菜類  
に行ふのであつて  
其目的は果樹の剪  
枝と同じく枝の成  
長を抑へて根を發  
育させる爲である  
又實を大きくする

高一農(三ノ)  
果樹の剪定  
高四實(一ノ)  
高四實(二ノ)  
高四實(三ノ)  
高四實(四ノ)  
高四實(五ノ)  
高四實(六ノ)  
高四實(七ノ)  
高四實(八ノ)  
高四實(九ノ)  
高四實(十ノ)  
高四實(十一ノ)  
高四實(十二ノ)  
高四實(十三ノ)  
高四實(十四ノ)  
高四實(十五ノ)  
高四實(十六ノ)  
高四實(十七ノ)  
高四實(十八ノ)  
高四實(十九ノ)  
高四實(二十ノ)

(六) 果樹栽培 其の八

(二時間)

A、要旨  
果樹の剪定整枝及び害蟲  
驅除を行はしむ  
B、要項  
1、剪定、整枝  
2、害蟲驅除  
3、施肥

1、剪定及び整枝  
には教師指導の下  
に行ふを可とする  
2、害蟲の樹内に  
潛入するものは針  
金にて突き殺し  
果實を作れるもの  
等は燒棄せしむ  
3、其他は男子細  
目参照

高一學(三ノ) 果樹の剪定、  
高二學(三ノ) 果樹の剪定、  
高三學(三ノ) 果樹の剪定、  
高四學(三ノ) 果樹の剪定、  
高五學(三ノ) 果樹の剪定、  
高六學(三ノ) 果樹の剪定、  
高七學(三ノ) 果樹の剪定、  
高八學(三ノ) 果樹の剪定、  
高九學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十一學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十二學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十三學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十四學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十五學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十六學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十七學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十八學(三ノ) 果樹の剪定、  
高十九學(三ノ) 果樹の剪定、  
高二十學(三ノ) 果樹の剪定、

二月七(六) 地力

(二時間)

A、要旨  
地力衰耗の原因を教ふる  
にあり  
B、要項  
1、地力及び地力の衰耗  
2、衰耗の原因  
イ、土壤中の養分量  
ロ、養分の可給態と不  
可給態  
3、地力の恢復  
イ、土地の休閒  
ロ、排水及び深耕  
ハ、施肥

にも葉を大きくす  
るためにも之を行  
ふことがあ  
る

高二農(三ノ)  
高二農(二ノ)  
高二農(一ノ)  
高二農(四ノ)  
高二農(五ノ)  
高二農(六ノ)  
高二農(七ノ)  
高二農(八ノ)  
高二農(九ノ)  
高二農(十ノ)  
高二農(十一ノ)  
高二農(十二ノ)  
高二農(十三ノ)  
高二農(十四ノ)  
高二農(十五ノ)  
高二農(十六ノ)  
高二農(十七ノ)  
高二農(十八ノ)  
高二農(十九ノ)  
高二農(二十ノ)

(七) 蔬菜栽培 其の八

(二時間)

A、要旨  
蔬菜類收穫部の收納をなさ  
しむ  
B、要項  
1、收穫  
2、處分  
3、收支計算

1、蔬菜の收穫  
は全部收納せ  
しむべし  
2、收支計算は最  
初より分を各  
分區毎に互に  
は圖全體に互  
に對照せしむ  
べし

龍、  
帳簿、  
算盤、

二月八(七) 間接肥料

(二時間)

A、要旨  
間接肥料中石灰の效害に  
ついて教ふ

我國は風化作用盛  
にして地力の衰耗  
を來す、さうさ  
を知らしむべし

高二農(三ノ)  
高二農(二ノ)  
高二農(一ノ)  
高二農(四ノ)  
高二農(五ノ)  
高二農(六ノ)  
高二農(七ノ)  
高二農(八ノ)  
高二農(九ノ)  
高二農(十ノ)  
高二農(十一ノ)  
高二農(十二ノ)  
高二農(十三ノ)  
高二農(十四ノ)  
高二農(十五ノ)  
高二農(十六ノ)  
高二農(十七ノ)  
高二農(十八ノ)  
高二農(十九ノ)  
高二農(二十ノ)

1135











文部省督學官 乘杉嘉壽先生序文 農學士 成田軍平先生 共著 (忽參版)  
愛媛縣師範學校長 山路一遊先生序文 奧井平七先生 共著

# 小學校農業教授の實際

全一册

菊版五百頁總布綴、石版刷插圖數葉入、定價金二圓、送料金十二錢。

農村改革の根本解決は農業教授の善悪如何にありと絶叫して、没頭十年自ら犁鋤を手にし農村兒童の開發に従事せる著者が辭物たる野心、火の如き意氣を以て公表せる本書の大主張、大經綸を見よ。これ農村、學校經營の唯一津梁たり。退化荒廢せんとする村落の復興方策たるもの、教育家は勿論先覺者の必讀すべき書也。

●時事新報評 理論と實際とを巧に調和し小學農業科の教授方法を詳述せるものなるが、特に教授細目の編成、農業科と他教科との關係、並に實習教授を説けるあたりに特色を見る。  
●大阪朝日新聞評 小學校に於ける實科の一事として最近に教授時間を延長され其價值を重大した農業科の教授方案と其成績を詳述した書で、實際上の智識方法が多く記述されてある。  
●報知新聞評 小學校農業科の教授方法を詳述し特に理論と實際との調和に苦心する處ありたれば小學農業教授法の缺陷を補ふによるしく、農村小學校は勿論、村長、農業技術員は一讀して發明する處多からざるべし。  
●名古屋新聞評 乘杉文部省督學官本書に序して曰く『本書著者奥井氏は田園に於ける小學校に奉

職七年、其の間専心努力小學校に於ける農業教授の實際と研究とに奮勵苦心して得る處多くないのである、乃ち昨秋御大典の交、滋賀縣教育會の主催に係る教育品展覽會に於て、その工夫實驗に於ける農業教授の實際を發表して優等の成績を得たのである、今茲に成田學士と共に本書を刊行して有益なる研究の途を披瀝し、世の教を乞はんとするの熱誠は、眞面目の研究と實行とを急務とする現下我が教育界の爲めに慶賀すべきである』云々と、よく本書の眞價を闡明せるもの、徒に机上に於て作成せるものとは頗る撰を異にせり。  
●河北新報評 農村不振の原因多々あるべきも農業教育の不徹底なるその重なる因たるを失はず、(中略)苟も農村に關係ある者一讀せざればあるべからず。

角田 政治先生 共著  
中野 八十八先生 共著

再版

# 小學校地理教授の實際

判總洋布綴、紙數五百頁、箱入美本、定價金二圓五十錢、送料金十二錢

著者中野先生は多年育英に従事せらるゝの人にして其豐富なる經驗と眞摯なる研究とを傾盡せられ、加ふるに地理集成の著者として名聲噴々たる角田先生之れを援けらるゝ、本書亦甚だ異彩なかる可からず、即ち學理と實際とを調和し從來の缺陷を指摘し、實感主義に立脚して其十全を期せんとする懇切丁寧用意周到殆んど餘蘊なし、教育家は勿論、斯學に志すの士須く一本を備ふべき名著たる也。

(目次) 第一編 第一章 地理教授要旨の分解 第二章 日本地理教授の目的 第三章 外國地理教授の目的 第四章 補習地理教授の目的及び革新 第二編 第一章 教材の選擇 第二章 地理教材の排列 第三章 教材の研究 第三編 第一章 地理教授の各階級に關する研究 第二章 地理教材取扱に關する研究 第三章 地理教授の八體 第四章 本邦諸大家の教授案實際 第五章 地理教授と國中細目 第六章 主眼點抽出法の研究 第七章 教授變更の實際 第八章 地理教授と紙黑板の使用、附製法及び利用法 第九章 地理教授と板書法の研究 第十章 地理教授と方眼紙利用の研究 第十一章 地理教授と統計の實感 第四編 現今地理教授上の諸問題 第一章 地圖に關する研究 第二章 郷土に關する研究 第三章 校外教授に關する研究 第四章 教科書に關する研究 結論 一 地理科教授の新主張と實際 二 現代思潮と地理教授の實際 附録 本邦地理教授の發達







淺山尙先生著

全一冊

# 綴方教授の破壊と建設

頗好評  
忽再版

菊版總布綴 定價金壹圓 送料金八錢

## 教育界革命の警鐘

(目次) 第一編 緒論 第一章 緒言 第二章 現代教育界の最大缺陷 第三章 教科研究態度の缺陷 第四章 國語科研究態度の缺陷 第五章 綴方に對する研究態度 第六章 綴方教授の主要の歴史的警見 第七章 綴方の歴史的概観 第八章 綴方の歴史的警見 第九章 綴方以後に於ける思想表現の形式 第十章 普通教育に於ける綴方の到達點 第二編 各論 第一章 綴方の問題 第二章 綴方の種類の問題 第三章 綴方の問題 第四章 綴法との關係問題 第五章 綴法との關係問題 第六章 綴法と綴法との關係問題 第七章 綴法と綴法との關係問題 第八章 綴法と綴法との關係問題 第九章 綴法と綴法との關係問題 第十章 綴法と綴法との關係問題 附録 眞教育を望望して(八篇)

●「教育界」評 鐘が鳴る、革命の鐘が鳴る……教育界までも現状破壊の聲をあげて居る。教育界に於て問題となつて居る綴方教授は最近種々の研究が發表されるやうになつたが其多くは粗末な技巧論や断片的な方法論に走つて居る。此不満足なる現状に一大破壊の鐵鎚を下したのが淺山氏の快著である。(中略) 此書は文法と修辭法と三年の経験でつち上げたものではない。綴方の根本論、態度論を論じたもので、綴方を以て單なる實用、單なる能力養成の一技能と見ないで、綴方は日本人の生活と思想表現の關係問題、日本文明の基調に關する重大なる問題であると絶叫して居るのである。(中略) 著者はニオチエの所謂血で書くの意氣を以て書かれたさうだ。(中略) 附録「眞教育を望望して」といふ題下に八篇の小論文を加へてある。昔、吾人の共鳴を感じずるもので……錦上更に花を加へたものである。(中略) 要するに近來稀に見る快著である。(以下略)

●國民新聞評 小學教育に於て最も困難なりとせらるゝ綴方教授に就て、三ヶ年中の間に得たる著者の経験より發明し來つた感想を録したるものにして、眞率筆實に滿つたる勇氣を加へて教育界を刺戟し覺醒せしめんとするもの、如し。

●萬朝報評 著者自身の経験より現行綴方教授の缺陷を指摘し、新しき思想表現の方法たる新しき綴方教授の必要を主張せる書なり、同感者恐らく夥からざるべし。

バツチエラノオアサイエンス  
マスタノオアサイエンス

永井威三郎先生著

精密圖版百餘面挿入

# 植物の遺傳と變異

菊判約五百頁  
總布綴箱入  
定價金貳圓四拾錢  
送料金拾貳錢

理學博士三宅驥一先生 本書の爲に校閲指導の勞を執らる

「専門家以外には概して難解なる自然科学中特に了解に苦む遺傳學の原理を簡明平易に説くこと本書の如きは未だ他に類例を見ず。精巧なる插圖百餘面の外、精密なる圖表數十面を挿入したれば、周到平易なる本文の理解を援け讀者をして多大の興味を起さしむべし。」

先づ生物界一般の遺傳現象の意義を精確平易簡明に叙述し、遺傳學上に重要な地位を占むる「メンデルズム」に就き、植物界に行はるゝ遺傳の原則を總説して百餘頁に亘り一々學者の研究による實例を挙げ、且つ、最近の種々の學説を掲げて反「メンデルズム」の現象に論及したり。

次で生物進化上の一現象として進化論者間に論争ある假然變異(Mutagen)の原理法則を詳述し、更に細胞學的實驗に基きて染色體に於ける現象上より遺傳形質を論じ、遺傳法則に因りて雌雄性の決定さるゝ所以を説き、終りに遺傳に關する代表的諸學説を掲げて、遺傳學上の根本問題に解決を試みたり、加ふるに其の應用方面に於ては、作物の品種改造に關する種々實驗の結果を掲げ接木雜種の現象をも解説せり。



◀▷ 學界の一權威 ▶◀

▲ 理學博士 三宅驥一先生  
理學博士 草野俊助先生 共譯  
原著者肖像  
同自筆序文 入

ブルガース植物學

四六倍版  
總洋布綴  
金文字入  
頗美本

本書の原著が世界最高學府の共通教科書たるが如き觀あるまでに弘く用ひられ、年々改訂改版して既に十數版を重ね、名聲天下に噴々たるは普く人の知る處、今、本書が原著者ストラスブルガー先生面授の高足たる三宅先生、及び先生と共に農科大學教授の現職に在る草野先生によりて邦語に譯出せられたるは、寔に其人を得たるものこと謂ふべく、我が學界の幸慶何ぞ之に如かんや。

殊に、本書收むる所の圖版七百有餘、原色寫眞版亦甚だ少からず、是れ悉く獨逸原書刊行會社の調製に係るものにして到底他に其類を求め得べからず、英譯、佛譯等の文明國譯書と雖も遂に及ぶべからざる也。

譯文、流暢平明にして些の滯なく、校合の正確嚴密なる殆んど盡さざる莫し。要するに何れの點より見るも我が學界に驚異を齎すべき最良稀有の大著たる也。幸に學界無上の惠澤を逸するなからん事を祈る。

◀▷ 獻身的前空の出版 ▶◀

▲ 三色版數十面 悉く獨逸原書  
精密圖版七百餘 刊行會社にて調製のものに係る

●植物學雜誌評 ストラスブルガー氏の植物學教科書は一千百十四年の初刊以來既に十二版を重ね、英伊露の諸國語に翻譯せられ世界的聲價を博しつゝあり。(中略)挿圖は原著者の健筆に成り、其敘述の巧、布置の妙以て全篇の麗巻を稱すべく、譯文亦妥當流暢、術語には一々英露の原語を挿註せるが如き用意の深きを見るべし。

- 教育の實際評  
本書は中等教育程度以上の學生又は獨習者の參考書たらしむる目的を以て公にせるもの、植物學の全般に互り詳説せり、(中略)本書が我國學界の發展に貢獻する所尠からざるは言を俟たず。
- 現代の科學評  
本書の原著は有名なるものにして世界各國に博く行はるゝ其教科書なり、我が三宅、草野兩博士之れを邦語に移して公にせらる(中略)譯筆正確にして而かも輕妙に、挿圖は豊富にして而かも甚だ鮮明なり。植物學に志すの士は勿論各學校に必ず備ふべき書なりとす。

●東京朝日新聞評 原書は植物學教科書として好評嘖々たるものなり、初め獨逸大學教科書としての以て、ストラスブルガー、ノル、シエンフ、シュムパー四氏が同國ギン大學在職中、多年の経験に基き各自分擔し編纂せしもの、(中略)殆んど逐語譯なるも精確原文の意を失はず(中略)又挿圖は原書出版書肆より悉皆譯受けたる原版に據りしを以て極めて鮮明緻密なり(下略)

●讀賣新聞評 (前略)今この名著が三宅、草野兩理學博士の努力によつて邦語に譯された事は實に學界の慶事と云はねばならない(中略)記述は前潔明快面かも要領を逸せず、挿圖も多し、學生及び獨習者は勿論斯學に係るものは齊しく益を得ることが大であらう、原著者は此書に序文を送り來つて「兩博士の學識を保證し邦語の佳良を確信して自著紹介推獎を光榮とする」と云つて居る。

●時事新報評 (前略)紙質の良好にして印刷の鮮明なる、裝幀の麗美なる名著を紹介するに些の遺憾なし。云々

上巻第一冊 形態學……………金貳圓也  
同 第二冊 生理學……………金貳圓貳拾錢  
下巻第一冊 隱花植物(新刊)金貳圓七拾錢  
同 第二冊 顯花植物(近刊)……………



のも成集の館文隆

著大の力努年十生先助武木青 士學文

# 校訂 大日本歴史集成

全三卷

最新！最精！最大！而して最廉なる大歴史！  
（東京朝日新聞）「自らの識見を主とせず、最新研究の結果を認め比較的詳細に國史を叙したるを本書の特色とす……」  
（時事新報）「此集成の用意を以て確説を本文とし之に職記物語等の國民的話説を加へ個人傳記及び古來の異説大家の論議を摘引し或は諸曲淨瑠璃等を引用して具に事實の批判及び古完らしめり……」  
（黒潮報）「町野深切中小學教師の參考書として絶好のものたると共に家庭の寶典とするに足る」

## 續大日本歴史集成 全二卷

下巻近刊 挿畫數十面 布綴箱入美本

刊新

●附録 文部省檢定試驗日本史料問題（第一回）解答手引

菊判總布綴箱入美本 挿畫地圖等 綴百面挿入

上卷 十二版

紙數一千百餘頁 金參圓拾錢

中卷 十一版

紙數一千三百頁 金參圓參拾錢

下卷 八版

紙數一千二百頁 金參圓參拾錢

續上卷再版

紙數一千四百頁 金參圓八十錢

送料 金拾六錢

各冊 金拾六錢 索引的詳細目次 各卷數十頁あり

のも成集の館文隆

櫻井時太郎先生著

上卷再版 下巻近刊

# 東洋歴史集成 全二卷

菊判壹千壹百頁總洋布綴美本箱入

定價金參圓五拾錢 送料金拾六錢

櫻井先生は斯界の權威者、東洋歴史に精通するの故を以て世既に定評あり、今特に其蘊蓄を傾けて彪然たる此大著を成さる、先生の識見と、其周到親切なる用意と、加ふるに集成式獨特の編輯とは、本書をして斯界第一の書……絶好無二の書たらしめたり……。

●普通教育評（前略）支那は文獻極めて豐實の國、而も上下四千年の史實と現代の史論を綜録して詳述するの困難は蓋し想像を絶して居る、印度亦然り西域史に到つては元是れ史界の新天地、而も支那印度西域の史趣無限なるは西洋史の遠く及ぶ所ではない……  
●帝國教育評（前略）今本書の特色二三を擧ぐれば、大體に於て古代に略して近代に至るに従つて詳しく書かれてある。殊に我國に關係ある部分には非常に詳しい、又印度の如き從來歴史書に附却されて居た部分が特に詳述してある、尙一國の盛衰興亡と賢哲英雄の事績を叙する外文化の變遷發達、國民傳說等をも集め、眞に『集成』の名は當かぬ……

●大阪朝日新聞評（前略）本文に於て大要の史實を述べ補註に於ては史料其他必要なる參考材料を頗る詳密に蒐集し傳説地理風俗等一般的歴史には記載せざる材料までも網羅したれば中等學校の教師の參考史書として甚だ便利に、初學者にも趣味と實益とを與ふる良書なるべし……  
●讀賣新聞評（前略）史論の異説あるものは悉く網羅するに努め、重きを國民性の進展、經濟上の事情に置き、學校に於ける教育用にも適用し得るやう用意し、詩歌などを挿入して趣味を助けたるなど枚舉に遑あらず、上巻には上古史より三國、晉、南北朝迄を收め、文檢東洋史問題集を附録とせり……

▼附録 讀史餘情 文部省檢定試驗東洋史料問題（第一回）より全部集



エミールの姉妹篇!!!

ロンブローゾー原著  
三浦關造先生譯

(大好評再版)

# 犯罪と遺傳 個性の教育

三上書伯裝釘  
總洋布綴箱入美本  
菊判總紙數五百餘  
原著者肖像口輸入  
定價金壹圓八拾錢  
送料金拾貳錢

驚くべき

科學的の  
人道的的の

一大名著

從來教育上の疑問であつた二大根本事實が茲に發見された。一は犯罪救済に關する教育問題で、一は人類學上から個性の教育を促さうとする問題である。此最大重要な問題は「大犯罪學者」ロンブローゾーに依て宣言指導せられた。カントの如き大哲でさへ、又ヘルバルトの様な大教育家でさへ犯罪に關する教育思想は幼稚で非人道的な誤謬を持つて居た。本著者に至つて犯罪救済の教育に關する根本からの力ある正しい見解が發見されて人類學の上に立つた個性教育が唱導された。本書は實に彼が最後の名著たる有名な「犯罪の原因と救済」の譯書で、政治、法律、社會には重大宣言であると同時に、教育上決して忘るべからざる近代唯一の名著である。歐米の犯罪學協會が本書を世界最高の名著として承認激賞し、之れを實地に施して多大の効果を擧げて居るのは實に然るべき事である。譯文流暢明快、興趣無限、將に諸賢必讀の快著である。

此の書何を語り、何を感じしめ、何を爲さしめんとするか!?

# 社會德育及教化の研究

全一冊  
再版

中足 文島立共  
學力栗共  
博士園栗共  
士先園栗共  
生先園栗共

菊判布綴箱入美本  
定價金貳圓  
五頁 料包小  
百五頁 料包小  
頁百五 料包小

■時事新報曰く 吾國史中社會德育及び教化の最も完全に行はれたるは徳川氏二百五十餘年の期間となす、此範圍たる徳川文化は物質的にも將た精神的にも社會を根柢より整理し其國民徳化の方針を永久に定めたり、本書は即ち此等の現象の由つて來る所を究め且つ其實踐の淵源たる可き諸宗教の内容及びそれが勢力範圍を致へ且つ其時代の精神的原動力となりし諸教育家を批評せる者、所述秩序的にして言辭簡明一讀して克く複雑なる文明史の一般に通曉せしむ、好著と謂はざる可けんや。

■東京朝日新聞曰く 足利の末より戰國亂離の時代を經過して文教殆んど地を掃ふの傾あり、徳川氏天下を一統するに及び武を偃せ文を修め教化漸く下民に遍く以て能く三百年太平の治を致すことを得たり、中に於て所謂該時代學問教育の發達と實狀とに就ては世之を説けるもの既に多し、獨り庶民教化の諸種の事に實就て集めて之を叙述し一日時代の大事に通曉せしむるに足るべきものは

未だ之を見ざるが如し。本書は實に此の缺を補ふに足るものにして、徳川幕府庶民教化の方針と施設に其の筆を著け、儒者、神道家、僧侶及び手習師匠、篤志家等の庶民教育社會教化に力を盡したる事實と其の唱説せし義旨とを明にし、特に心學、海宮術、報徳教、富士講、性理教等に關して各章を設けて之を解釋するに頗る要領を得たり、教育者宗教家其の他一般讀書社會に廣く喜ばるべき好著たるを疑はず。

■國民新聞曰く 近世徳川氏時代に於ける社會德育の經過を精論細論したるもの、大別する所、社會の組織と庶民、江戸幕府社會教育の方針、諸藩の社會教育方針、社會教育家の種別、碩徳高僧の社會教化、心學の興起及び隆盛、心學の組織及び内容、心學の社會教育、心學者及び著者、報徳教海宮術、富士講、性理教、神儒佛三教者の社會教化、社會教育書の類例等の諸章我が教化訓育に資すること頗る多きを疑はぬ好著である。







291  
51



終